

ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 442



(左) ISS 搭乗宇宙飛行士認定に伴う記者会見にて、(左から) 大西、油井、金井宇宙飛行士 (出典: JAXA)
(右上) 「きぼう」にて交信イベントを行う古川宇宙飛行士 (出典: JAXA/NASA)、(右下) PMM にて物資の整理を行う古川宇宙飛行士 (出典: JAXA/NASA)

トピックス

新たな JAXA 宇宙飛行士誕生！ 3 名の候補者を ISS 搭乗宇宙飛行士に認定

JAXA は、2009 年 4 月より油井亀美也、大西卓哉両宇宙飛行士候補者に、2009 年 9 月より金井宣茂宇宙飛行士候補者に対し、国際宇宙ステーション (ISS) 搭乗宇宙飛行士候補者基礎訓練を実施してきました。そして 3 名の宇宙飛行士候補者がすべての基礎訓練項目を修了したことから、2011 年 7 月 25 日付けで ISS 搭乗宇宙飛行士として認定しました。

7 月 27 日に行われた記者会見で、油井宇宙飛行士は、「海外での訓練で感じたのは、日本の宇宙開発能力の高さ。および、

日本の将来の宇宙開発に海外の人々が期待していることを感じた。誠心誠意、全力で頑張りたい」と述べました。

また、大西宇宙飛行士は、「スペースシャトルのラストフライト帰還により、ひとつの時代が終わった感があり、これからのポストスペースシャトルを担うのは自分たちと自覚している」と、金井宇宙飛行士は「まだ宇宙飛行士としてスタートラインに立ったばかり。これから様々な経験を積み、宇宙飛行に備えたい」と今後に向けた決意を語りました。

3 名の ISS 搭乗宇宙飛行士は、今後、NASA ジョンソン宇宙センター (JSC) を拠点として、日本を含む各国で行われる宇宙飛行士としての知識・技能を向上させる訓練に参加します。

ISS 搭乗宇宙飛行士認定の詳細については以下のページをご覧ください。先輩から新たな JAXA 宇宙飛行士に向けたメッセージや紹介映像などもご覧になれます。

Website info

ISS 搭乗宇宙飛行士の認定について
<http://iss.jaxa.jp/astro/recognition/>

古川宇宙飛行士は「きぼう」の整備や交信イベントなどを実施

国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在中の古川宇宙飛行士は、「きぼう」日本実験棟の船内カメラの交換や 3D ビデオカメラの設置、交信イベント、恒久型多目的モジュール (PMM) 内の物資の整理などを行いました。

7 月 28 日、古川宇宙飛行士は秋田大学の学生と交信イベントを行い、学生からの多岐にわたる質問に終始笑顔で丁寧に

答えました。また、8 月 1 日には宮城県と茨城県つくば市の 2 会場と ISS を結んで交信イベントを行い、東日本大震災の被災地の子供たちへ励ましのメッセージを送りました。

そのほか、新たな JAXA 宇宙飛行士の認定について、古川宇宙飛行士は Twitter で「JAXA 飛行士に新たに 3 人の宇宙飛行士が加わり、今から一緒に仕事ができるの

が楽しみ」と語るとともに、医師出身の宇宙飛行士の後輩となる金井宇宙飛行士が記者会見で目標として古川宇宙飛行士の名前を挙げたことに触れ、「後輩たちの手本となるよう、宇宙での仕事、ますます頑張らねば！」とツイートしています。

Website info

古川宇宙飛行士 ISS 長期滞在ページ
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/



MSPR の初期機能確認の準備作業、船外実験装置の観測運用を継続

「きぼう」船内実験室では、多目的実験ラック (MSPR) の初期機能確認の準備作業を引き続き行っています。

MSPR は、ユーザーが持ち込む小型・汎用的な実験装置に実験用の電力、通信などのリソースを提供する設備です。比較

的大きな実験装置はワークボリュームへ、小型のものは小規模実験エリアへ設置し、それぞれの区画を利用した実験を同時に行うことができます。

「きぼう」船外実験プラットフォームでは、宇宙環境計測ミッション装置

(SEDA-AP) と全天 X 線監視装置 (MAXI) の観測運用が続けられています。

Website info

多目的実験ラック (MSPR) 紹介ページ
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/pm/mspr/>
 「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>



クルーはロシアの船外活動に向けた準備などを実施

古川宇宙飛行士ら ISS の第 28 次長期滞在クルーは、科学実験やメンテナンス作業のほか、8 月 3 日に予定されているロシアの船外活動に向けた準備などを行いました。

船外活動クルーのサマクチャイエフ、ヴォルコフ両宇宙飛行士は、ロシアのオーラン宇宙服の整備や、船外活動で使用する工具の準備作業、船外活動の手順確認などを行いました。

今回の船外活動では、「ズヴェズダ」(ロ

シアのサービスモジュール) 外部への材料曝露実験装置と地上との光通信用機器の設置、小型衛星「ARISat-1」の放出などが予定されています。

Expedition 28 Crew

ISS 滞在 118 日経過

アンドレイ・ボリシェンコ (コマンダー、ロシア)
 アレクサンダー・サマクチャイエフ (ロシア)
 ロナルド・ギャレン (NASA)

ISS 滞在 53 日経過

マイケル・フォッサム (NASA)
 古川聡 (JAXA)
 セルゲイ・ヴォルコフ (ロシア)



ARISat-1 を確認するサマクチャイエフ (左)、ヴォルコフ (右) 両宇宙飛行士 (出典: FSA)

Website info

国際宇宙ステーション (ISS)
<http://iss.jaxa.jp/iss/>

きぼう利用フォーラムにて facebook と twitter 公式アカウントを開始

JAXA きぼう利用フォーラムでは、7 月 13 日より facebook と twitter 公式アカウントを開始しました。facebook ではディスカッションボードを設置していま

す。交流の場としてご活用ください。また、twitter では「きぼう」利用に関する最新情報などツイートしていきます。皆様からたくさんの「いいね！」やフォローをお

待ちしております。

Website info

facebook: <http://www.facebook.com/kibo.jaxa>
 twitter アカウント: @kibo_jaxa

more information



▶ 「きぼう」日本実験棟船内実験室第 2 期利用テーマの追加募集 (8 月 31 日 (水) まで)

<http://kibo.jaxa.jp/experiment/application/pm201107application.html>

今回の募集は、これまでの約 3 年間にわたる「きぼう」の実運用経験を踏まえ、実験と実験の間に生じる「小規模な実験機会」を最大限活用することを目的としています。チャレンジングなテーマのご応募をお待ちしています。実験の実施時期や応募要領などについてはホームページをご覧ください。

▶ 筑波宇宙センターにて「夏のダブル企画」(「だいち」パネル展とサマーラボ)開催中 (8 月 31 日 (水) まで)

http://www.jaxa.jp/visit/tsukuba/topics_j.html

筑波宇宙センターの展示施設「プラネットキューブ」では、「夏のダブル企画」として地球観測衛星「だいち」のパネル展と、宇宙に関する工作や実験教室、ミニ講演などに参加できるサマーラボを開催しています。夏休みの自由研究や工作にいかがでしょうか。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

ISS・きぼうウィークリーニュース 第 442 号

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。